

学校教育目標 「つよいきずなで よさをのぼそう」

重点目標 「やってみよう ほくから わたしから」



早いもので、平成28年度も残すところ1か月となりました。昔から、よく言われますが、「1月はいつてしまい、2月はにげでしまい、3月はさってしまう。」の例えの通り、毎日が駆け足のように進んでしまうのがこの時期です。

このように限られた時間の中で、1年間のまとめをきちんと行い、次の学年（6年生は中学校）への目標をもたせることが私たちの大事な使命だと思っています。

そこでふと思い出したのが、私の小学校卒業式での校長先生が式辞で話してくださった内容です。今から40年近く前の話なので、確かな記憶ではなく何となくその内容を覚えているだけですが、なぜか心に残っているので紹介します。

植木職人の親方と弟子がいました。その日は、弟子が梯子を使って高い所に乗って作業をしました。親方は、黙って下でそれを見ている。弟子は先に高いところの枝打ちをして、だんだん下に降りてくるという作業の流れでした。そして、梯子の段がどんどん低くなり、あと1段というところで親方は厳しい声で言いました。

「おい！梯子から落ちるなよ！」

弟子は、不思議に思いました。高い所で作業をしているときには、何も声を掛けなかったのに、なぜ落ちても大してけがなんかない低い所で声をかけてきたのだらうかと。そこで、親方にその理由聞くと、親方は弟子に次のように言いました。

「高い所では、落ちたらけがをすることが分かり、自分で気を付けようと意識ができる。しかし、低い所だと安心から注意が散漫になる。だから声を掛けたんだ。」

この話の教訓についての話は忘れてしまいました。しかし、約40年後の今、改めてそれを考えてみると、そこには親方の弟子を思う愛情と教訓が感じられます。

- 高いところで作業をしている弟子を信じて、黙って見守る。
- 必要なところで、適切な声を掛ける。（最後まで気を抜くな！）
- 弟子の疑問に対して、丁寧に答える。

そして、親方を教師・親に置き換え、弟子を子どもに置き換えても、この教訓は当てはまるものだと思います。

今年度の残り約3週間は、梯子の一番低い所だと思います。植木職人の親方のように、必要なところで、適切な声掛けをしていき、子ども（弟子）を育てていきたいと思っています。

◎ 校長先生の校務復帰について

3月6日をもって、特別休暇期間が終了します。しかし、校務に復帰するまでの回復が間に合わず、自身にとっては、大変不本意ではありますが、今年度末までは休暇を延長させていただくことになりました。よって、残り期間の校長職務は、引き続き教頭が代理をさせていただきます。

ただし、卒業式に関しては、6年生からの強い要望もあり、できれば出席していただければ幸いです。そこで、「体調を整え、卒業式に出席できるように、自宅での療養とリハビリに専念します。」という前向きな回答をいただきました。また、体調のよい日には学校に来て、子どもたちに励ましの声をかけていただくこともお願いできそうです。

自宅だけでなく学校で子どもと直接関わりながら、リハビリを進めていくという形になりますが、卒業式への参加と併せて、皆様のご理解をよろしく願います。

◎ 平成29年度神戸小学校に関する重要なお知らせ

1年生の入学人数が40人を上回るため、国の学級編成基準により、1年生は2学級の編制となります。さらに、希望により神戸小学校に特別支援学級が新設され、4月から1名の1年生児童が入級することになりました。

特に特別支援学級については、神戸小学校には馴染みが薄いと思われるので補足させていただきます。

特別支援学級とは、障害のある子ども一人ひとりに応じた教育を行うため、学校教育法81条に基づき小・中学校に設置された、障害種別ごとに編成された少人数の学級をいいます。また、昨年の4月には障害者差別解消法も施行され、教育の機会均等がより色濃くなりました。

このような背景の中で、本校に特別支援学級が開設することは、健常者が障害者を理解し、共によりよく生きていくことを学ぶ（インクルーシブ教育）よい機会となります。保護者の皆様にも事前に理解していただき、本校の特別支援教育の充実につなげていきたいと思っています。

3月～4月の主な行事予定



3月	～弥生～	4月	～卯月～
1日(水)	・読み聞かせ	7日(金)	・始業式
2日(木)	・朝礼 ・4～6年生卒業式練習Ⅰ		・リーダーワッペン授与式
3日(金)	・PTA現新三役部長会 ・4日課 ・愛校奉仕活動	10日(月)	・入学式 ・身体測定(全学年)
6日(月)	・ハッピースマイルコンサート ・1年生代表入学式練習⑤	11日(火)	・1年生3日課 ・校納金振替日
7日(火)	・4～6年生卒業式練習Ⅱ ・情報教育指導員来校 ・3年生放課後GoDo学習	12日(水)	・1年生3日課 ・視力検査(全学年)
8日(水)	・読み聞かせ ・スクールカウンセラー来校 ・学級懇談会・卒業式説明会	13日(木)	・1年生3日課 ・1年生牛乳のみ給食スタート ・1年生3日課
13日(月)	・1～3年生4日課 ・卒業式総練習⑤⑥	14日(金)	・通学区会 ・1年生牛乳+デザート
14日(火)	・体育施設利用委員会	16日(土)	・授業参観会⑤・懇談会
16日(木)	・給食最終日	17日(月)	・PTA総会・1年生通常給食
17日(金)	・1,2,3,6年生特4日課 ・4,5年生特5日課(弁当持参)	18日(火)	・第1回リサイクル活動 ・家庭訪問
18日(土)	・特別日課 ・修了式 ・1～3年生特3日課 ・卒業式(午後) ・4,5年生弁当持参	20日(木)	・5日課 ・全国学力学習状況調査 ・眼科検診
19日(日)	・春休み(～4/6)	21日(金)	・家庭訪問 ・歯科検診(全学年)
23日(木)	・PTA会計監査	24日(月)	・家庭訪問・尿検査
28日(火)	・離任式(8:15)	25日(火)	・家庭訪問
		26日(水)	・代表委員会
		27日(木)	・1年生を迎える会 ・縦割りグループ会
		28日(金)	・家庭訪問予備日 ・小中合同引き取り訓練 ・給食推進会

◎ 第3回学校評議委員会(2月1日)報告

授業参観後、後期学校評価(自己評価)に対するご意見をいただきました。

- 授業参観では1年間の子どもの成長を感じた。よい環境で育った成果である。
 - 個人もしくは、グループの発表を聴く子どもたちの聴き方には課題を感じた。自分が発表者の立場になったときのことを考えながら聴く姿が望ましい。そうすることで、一方通行の伝達ではなく、双方向の学び合いとなり、「深い学び」になっていくと感じる。
 - 読書に関しては、「考えながら読む」ことの必要性を感じる。また、読むことで語彙力も豊かになり、表現力の向上につながるはずである。また、よい本を互いに紹介し合う活動も取り入れることで、読書の幅が広がるのではないかと。
 - 読み聞かせボランティアと図書館司書との連携を図り、神戸小学校の図書室にある本を把握すると同時に、よい本を紹介できる活動として広げたい。
 - 親が子どもをよく見ている家庭と、そうでない家庭によって、学校の対応が違うことが分かる。
 - 地域住民が子どもに声を掛けられない(掛けてはいけない雰囲気)地域もあると聞いている。神戸地区は、地域で子どもをよく見て、地域で協力し合って子どもたちを育てているため、子どもたちも安心して地域の大人と接することができる。
 - 教師が行う子どもへの指導が、保護者に理解されない難しさは理解できる。教師が叱る役になるのではなく、本来は保護者が叱る役を務めたい。
 - 小さいころからの外遊びの経験が少ないため、中高生になってから運動部で体幹を改めて鍛えなければいけない状況にある。
 - 家庭でできることを家庭が行うことで、「夢」プロジェクトの実現に近づける。
- 以上、これらを「学校関係者評価」として報告させていただきました。